**ケース対応　スキル参照シート**



＊ケース対応の状況によって，必要となるスキルの具体は異なります。

　現在のケースで使用したい または 過去のケースで使用したスキルについて

確認しましょう。



|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| コンサルティの主体的取組を促進するスキル | ＜クライエントの実態を把握するための情報収集＞○事前資料を読み，必要に応じて追加の情報を聞き取る。○授業参観で，クライエントの様子を観察する。○クライエントの日頃の様子を聞き取る。（可能であれば，複数の関係者から）○作成したものがあれば，個別の指導計画の内容を確認する。 | □ |
| ＜コンサルティの実態を把握するための情報収集＞○学校（園）概要について把握する。（ホームページ，学校要覧　等）○校(園)内支援体制について把握する。　　　　〔小・中学校等用「校内支援体制アセスメントシート」の活用〕○校内支援体制の状況について聞き取る。 | □ |
| ＜コンサルティの思考や判断を促す質問・提案・助言＞＜コンサルティの意図する取組の明確化＞＜コンサルティのこれまでの取組の価値付け＞○課題となっている行動や様子の生起する時としない時の状況を聞き取る。○現在の指導・支援の状況について聞き取る。○現在の指導・支援の意図について聞き取る。○アセスメントから得られた情報についてフィードバックする。○これまでの取組の中で，効果的に働いているものについて明示的にフィードバックし，特別支援教育的な意味付けを行う。○今後の指導・支援の具体について，選択肢を提示する。 | □ |
| ＜即時的な支援の提案・助言＞　　○翌日からでも，すぐに取り組むことのできる指導・支援について提案する。　　○関連する書籍や教材教具などを紹介する。 | □ |
| ＜支援・介入に対する評価を得るための情報収集＞　　○継続的に指導・支援の進捗状況を確認する。　　○支援者チーム内で，支援・介入についての評価を行う。（ミーディング，記録　等）　　○コンサルティや関係者から，支援・介入後のクライエント・コンサルティの様子を聞き取る。 | □ |
| 学校組織のエンパワメントを促進するスキル | ＜コンサルティの実情に応じた提案・助言＞　　○校内支援体制等を把握した上で，コンサルティが「できること」「やりきれること」を検討する。 | □ |
| ＜コンサルティチームでの対応を推進する場の設定＞＜コンサルティチームでの対応を推進する提案・助言＞＜コンサルティチームでの対応を推進する役割分担＞＜コンサルティチームでのキーパーソンの把握＞　　○カンファレンスへの管理職の同席や関係者の参加を要請する。　　○担任や特支Co.などの直接的なコンサルティだけでなく，他の関係者の意向も確認しながら，参加者全員で検討できるようにカンファレンスを進行する。　　○指導・支援に対する，校(園)内での役割分担を検討する。　　○組織の中でのキーパーソンを把握し，必要な場面での行動を促す。 | □ |

（参考：山内明美・名越斉子（2020）学校コンサルテーションから考えるセンター的機能のあり方（２）

－コンサルティのタイプに応じたコンサルテーションスキル活用の試み－，埼玉大学紀要　教育学部，69(２)，107－119）